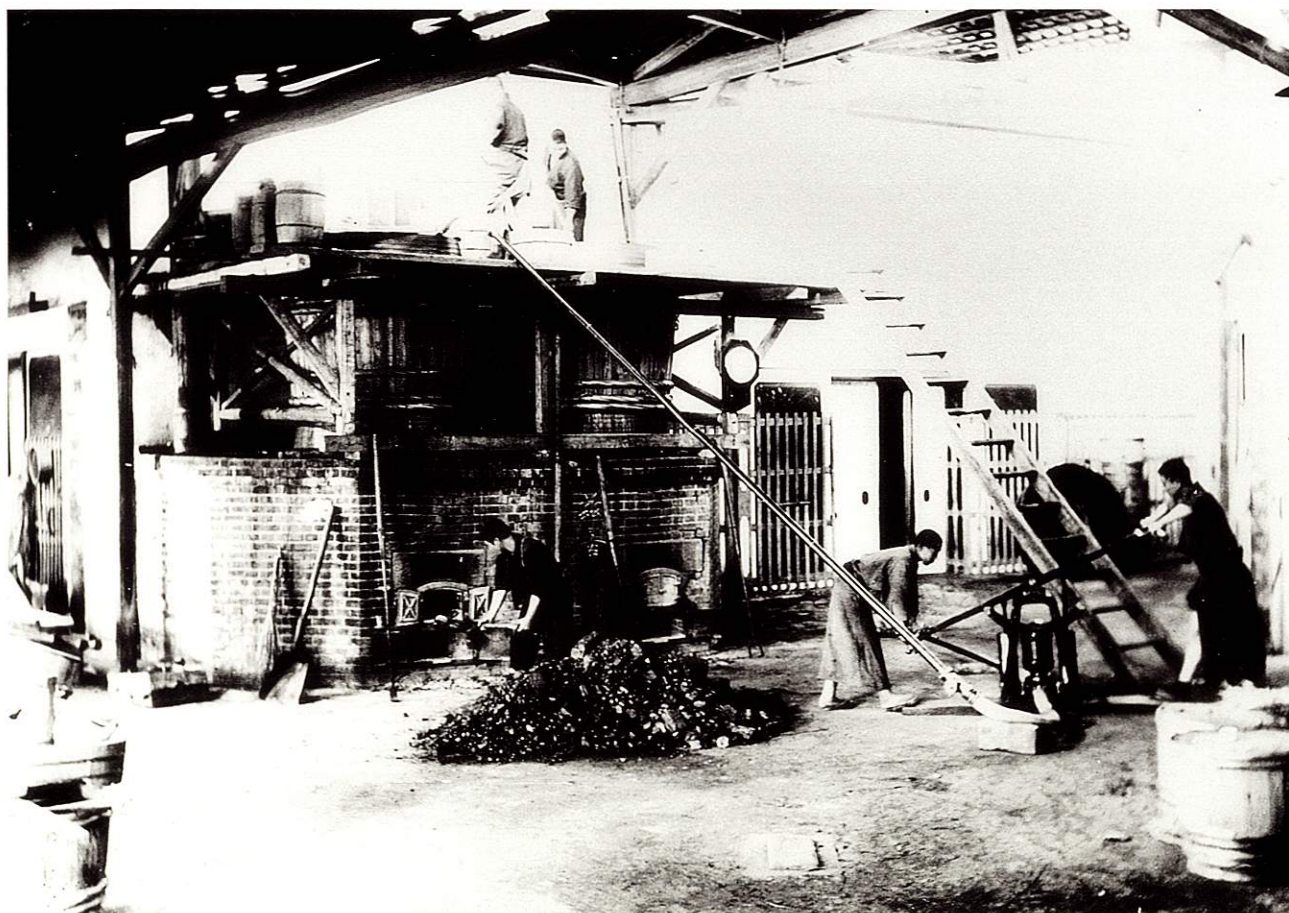


VI 産業（農・工・商業）

現在では宅地化が進んだ福生の街ですが、かつて台地上では桑畑や陸稻の栽培など、また多摩川の低地には水田が一面に広がる農村景観がみられました。青梅鉄道（現 JR 青梅線）の開通にともなう福生駅の開設（明治 27 年）が契機となり、その後の旧陸軍の多摩飛行場の開設もあいまって、しだいに商業が発達し、都市化が進行していきます。第二次大戦後は外人ハウスの建設や団地・学校建設などの公共事業によって農地は減少していききました。一方、江戸時代からの伝統産業としては、良質の地下水を利用した酒造業が営まれ現在に至っています。



85 ビールの製造作業 熊川（石川酒造） 明治 20 年代

86 にいなめさい 新嘗祭御供米収納風景 熊川（熊川神社付属地） 明治 40 年 11 月

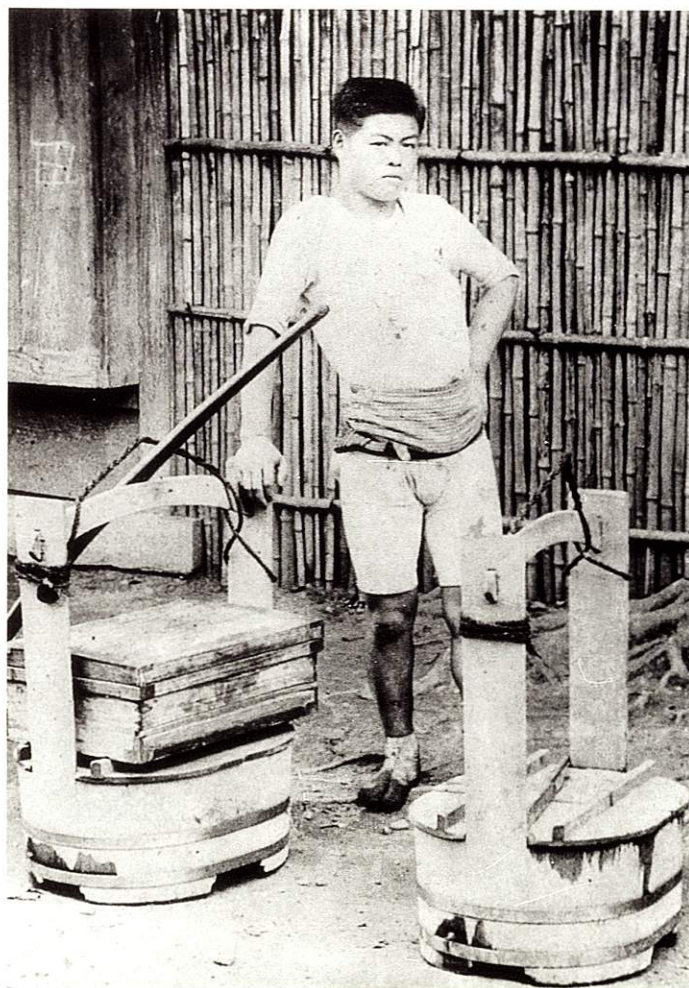




87 酒造用の桶作り 熊川（石川酒造）
明治30年3月

88 空からみた石川酒造 熊川（石川酒造） 明治40年代





89 豆腐屋さん 福生 大正初期

90 ^{とうみ}唐箕で農作業 福生（中福生） 大正11年3月





91 裏庭での大根整理 熊川 大正 11 年

92 豆棒打ち（豆の脱穀作業） 熊川 大正 14 年





93 製米所 熊川 昭和2年

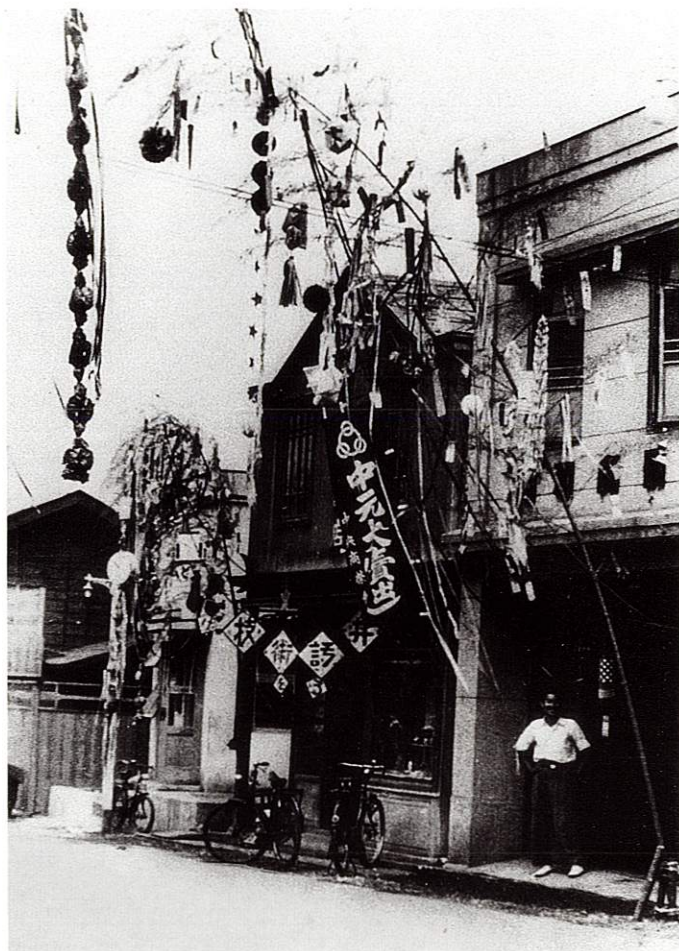
94 福生駅前通り 福生駅前 昭和初期





95 立川から大八車で売りに来た牛乳屋さん
昭和初期

96 第二回福生七夕まつり 福生駅前通り
昭和27年7月





97 福生駅前通り（改修工事直前） 福生駅前通り 昭和38年

98 商店（瀬戸物と米を扱う） 福生銀座通り 昭和30年代





99 田んぼの風景 福生（北田園） 昭和30年代

100 桑畑 熊川（幸楽園付近） 昭和40年代





101 茶摘み 福生（加美）昭和42年

102 田植え 熊川（南田園）昭和42年





103 消えゆく蒸気機関車（八高線） 東福生駅
昭和 45 年

104 福生駅前商店街 福生駅前 昭和 54 年 6 月

